



海星だより

第8号 平成26年11月

広島県立大崎海星高等学校 <http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

■学校へ行こう週間(11月1日～7日)

11月1日(土)～7日(金)の一週間、広島県は学校へ行こう週間ですが、大崎海星高校では4日の朝に「朝の一斉あいさつ運動」を実施しました。また、4日～7日の四日間の午前中は、地域の皆様へも生徒が頑張っている姿を見ていただきたく授業公開の日としました。大崎海星高校はこれからも開かれた学校と成るよう、地域の皆様に参加できる学校行事の設定などを積極的に行っていきます。



■在り方生き方講演会(11月6日)



11月6日(木)に、学校へ行こう週間の一環として、「在り方生き方講演会」を開催しました。当日は大崎上島町にあるファームズズキの鈴木社長にお越しいただき、「大崎上島から世界へ」という演題で講演をしていただきました。大崎上島から世界に牡蠣を販売していることを初めて知ったことで「改めて島の良さを実感しました。私も世界で活躍できる人間になれるようがんばりたい」と感想がありました。普段の生活では味わうことの出来ない大きな体験になったと思います。

■高校生のための就職ガイダンス(11月13日)

11月13日(木)に、広島県立総合体育館で開催された「高校生のための就職ガイダンス」に大崎海星高校三年生の就職希望者4名が参加しました。当日は普段触れる機会のない業種や企業の説明を聞くことで、生徒は就職に関する興味をより強く惹かれました。参加者は「周りの雰囲気はずくて、いろいろな話が聞けてためになりました」と大きな手応えを感じていました。大崎海星高校では今年度も生徒の進路決定率100%を達成するべく、さまざまな取組を行っていきます。



■命の大切さ講演会(11月20日)



11月20日(木)に、「命の大切さ」という題名で、竹原市にあるつばみ助産院の桑原真由先生をお招きして講演をしていただきました。子どもを産むことや育てることの大変さ、正しい性に関する知識はもちろんのこと、お互いを誉め合うということを通して他人を認めるということまで、命に関わる様々なお話をさせていただきました。講演を聴いた生徒の感想「命にありがとうと伝えたい」「今、自分が自由に生活を送ること、楽しく生活することのすばらしさを学んだ」

■防災訓練(11月21日)



11月21日(金)5時間目に防災訓練を行いました。今回は仮設校舎に移転してから初めての防災訓練で、生徒教職員が初体験になりましたが、全員で真剣に取り組んだ結果、落ち着いてスムーズに避難できました。その後東広島市消防局大崎上島消防署の職員の方から指導をいただき、消火器の使い方の実演訓練も行いました。実演に参加した男子の感想「実際に消火器を初めて使ったので緊張しました。仮設校舎の中での消火器の位置を改めて確認することができました。」

■大崎地区清掃でクリーンアップに参加しました

11月8日(土)に行われた「大崎地区清掃でクリーンアップ」に大崎海星高校二年生の柴崎さん、末田さん、須賀さん、耳道さん、渡邊さん、一年生の白井君の計6名が参加しました。一時間半かけて学校の周辺だけでなく大崎地区の様々な箇所の清掃をお手伝いしました。参加した生徒の感想「普段毎朝毎晩なにげなく通っている道でも、ゆっくり歩くと意外とゴミが多いことに驚きました。一人一人が意識しなければゴミはなくならないと思います。」

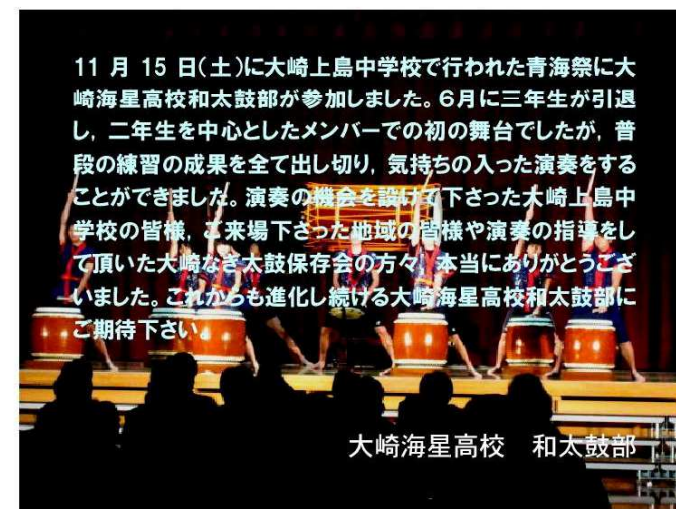


■オキウラマルシェに参加しました



11月9日(日)に大崎上島町沖浦港前広場で開催された「第5回オキウラマルシェ」に大崎海星高校の生徒が参加しました。一年生の白井君、末田君、藤原君を中心に事前の準備から参加し、当日は専用ブースにて七厘で焼いたしいたけを販売、正午すぎには完売しました。また二年生の井上君が写真撮影で参加しました。大崎海星高校の生徒はこれからも地域活動へ積極的に参加していきます。

部活動紹介



11月15日(土)に大崎上島中学校で行われた青海祭に大崎海星高校和太鼓部が参加しました。6月に三年生が引退し、二年生を中心としたメンバーでの初の舞台でしたが、普段の練習の成果を全て出し切り、気持ちの入った演奏をすることができました。演奏の機会を譲り下された大崎上島中学校の皆様、本場下された地域の皆様や演奏の指導をして頂いた大崎なぎ太鼓保存会の方々、本当にありがとうございました。これからも進化し続ける大崎海星高校和太鼓部に期待下さい

大崎海星高校 和太鼓部



和太鼓部

二年生：5人 一年生：3人
主な活動日時：毎週木曜日
主な活動場所：本校体育館